



説明文学習～御船小「国語化計画」実行中～

本校では、国語科の説明文学習の研究を核に、学力・向上に取り組んでいます。

ややもすると見えにくい国語の学力を、「読み方」という視点からとらえ、各教材で獲得させる「読み方」を、6年間で積み上げて行こうとする取組です。

算数を例にして考えると、1年生では、「10は1と9。」「10は2と8。」などと10の合成分解は、理解していないと次の学年で苦勞するといつて、徹底的に身に着けさせようとしています。しかし、国語では、3年生で「要点のまとめ方」を理解できないと、次の学年で苦勞すると、徹底的に身に着けさせようとしていない現状があります。それだけ、国語の学力は、系統性が明確でないのです。

そこで、本校では、国語の学力の一つである「読み方」の系統（試案）を作成し、教材と教材を「読み方」でつなぐ授業づくりに取り組んでいます。

御船町教育委員会指定(学力向上)研究発表会

先週13日（木）には、御船町教育委員会指定（学力向上）研究発表会を本校で開催し、県内各地から130名近くの参加がありました。

まずは、研究主任の佐々木雄亮先生が、本校の取組状況と授業の見どころを話しました。

次に、公開授業です。2年1組（酒井優子先生）の授業を交流ホールで、そして、6年1組（中村泉先生）の授業を体育館で公開しました。

その後、各分科会を経て、全体会です。

全体会の終わりに、御船町教育長・上杉奈緒子先生から、「町教育委員会指定の研究発表会に、県内各地から、それもこんなに大勢おいでいただき驚いています。ありがとうございました。」と謝辞を述べられました。

参加された先生方の感想として、「子どもたちが生き生きと授業に参加していた。」「子どもたちが育っている。」と聞きました。

御船小の子どもたちと先生方の頑張りを、大いにアピールできて良かったです。

